

五戸町新型コロナウイルス感染症対策本部会議 本部長あいさつ

令和3年2月22日 16時

夕方、お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。

本日は五戸町のコロナワクチンの接種体制を確立させなければならぬという意味で対策本部を開かせていただきました。現在、青森県は緊急事態宣言下ではありませんが、三大都市圏をはじめとする10都府県で緊急事態宣言が発令されております。それと同時に五戸町としても五戸町新型インフルエンザ等対策本部条例及び同対策行動計画に基づき五戸町新型コロナウイルス感染症対策本部が立ち上げられていることを改めて認識を新たにしていただきたいと思います。

そこでですが、他の市町村ではコロナワクチン対策室などに専任職員を配属させてワクチン接種事業の準備を行っている例が見られます。五戸町の考え方としては、世界的に蔓延している100年に一度といわれる新型ウイルスの脅威に対して、町民を守るた

めに一日でも早く、一人でも多くの町民に安心してワクチンを接種してもらいたいと考えております。そのためには、日本の国家プロジェクトといえるワクチン接種事業に全職員が参加する、そして成功させるという使命感を職員一人一人に味わっていただきたく、対策本部内にワクチン接種対策チームを設置させていただきたいと思っております。五戸町の職員全員がワクチン接種チームの一員であるという認識のもとに、一人でも多くの住民皆様に安心してワクチンを接種してもらいたいと切に願うものであり、同時にまた職員におかれてはこの新しいワクチン接種事業に携わることで自分自身の資質向上、スキルアップにつながる事を願うものであります。

具体的な情報が少ない中で、精一杯の準備だけは整えてまいりたいと思っておりますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

以上を申し上げ、開会の挨拶といたします。